



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月8日

上場会社名 テクノクオーツ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5217 URL https://www.techno-q.com
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 園田 育伸
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 岸 慎二 (TEL) 03-5354-8171
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,863	29.8	2,065	33.4	2,332	54.7	1,533	50.3
2022年3月期第2四半期	7,599	22.7	1,548	21.4	1,507	18.0	1,019	16.3

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,222百万円(67.0%) 2022年3月期第2四半期 1,330百万円(71.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	396.50	—
2022年3月期第2四半期	263.75	—

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	21,912	15,612	71.2
2022年3月期	18,310	13,779	75.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 15,612百万円 2022年3月期 13,779百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	130.00	130.00

(注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2 2022年10月1日をもって、当社株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の予想については、当該株式分割を考慮した額を記載しております。
 株式分割を考慮しない場合の2023年3月期(予想)の年間配当予想は650円となります。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	26.4	4,290	35.6	4,600	42.3	3,230	46.8	835.31

(注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2 1株当たり当期純利益については、当該株式分割調整後の内容を記載しております。2022年10月1日をもって、当社株式1株につき5株の割合で株式分割を行う影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,900,000株	2022年3月期	3,900,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	33,235株	2022年3月期	32,865株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	3,866,860株	2022年3月期2Q	3,867,135株

(注) 当社は、2022年10月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等へのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、当社ウェブサイトに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	8
3. 補足情報	10
(1) 生産、受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められ、社会経済活動の正常化に向けて持ち直しの動きが見られました。しかしながら、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、台湾を巡る米中間の緊張関係の高まり、原材料やエネルギー価格の高騰、急激な円安の進行に起因した個人消費停滞への懸念など、依然として先行き不透明な状況が続く展開となっています。

当社グループが属する半導体業界におきましては、パソコンやスマートフォン向け需要の落ち込みが見られましたが、自動車業界及び家電業界における5GやAI、IoT、自動運転等の需要の高まりから、半導体の供給不足が続く状況となりました。また、足元では一部に在庫調整の動きが見られるものの、各メーカーの投資意欲は継続しており、今後も半導体市場は着実に拡大していくものと思われまます。

このような環境の中、当社では、これまでに蓄えた豊富な受注残高と、工場の高稼働に伴う量産効果を背景に、売上高、利益ともに計画を大幅に上回ることが出来ました。また、受注残高につきましては、2019年秋頃から拡大傾向に転じた後、コロナ禍においても拡大を続け、足元では過去最高レベルの水準で推移している状況です。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は9,863百万円（前年同期比29.8%増）、営業利益は2,065百万円（同33.4%増）、経常利益は2,332百万円（同54.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,533百万円（同50.3%増）となりました。

当社グループの事業は、半導体事業の単一セグメントであるため、セグメント情報に記載された区分ごとの状況の分析は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,601百万円増加して21,912百万円となりました。主な要因は、売掛金が627百万円、棚卸資産が1,353百万円、有形固定資産が1,180百万円それぞれ増加したこと等であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,768百万円増加して6,299百万円となりました。主な要因は、借入金が1,121百万円、買掛金が372百万円、未払法人税等が246百万円それぞれ増加したこと等であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,832百万円増加して15,612百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1,146百万円、為替換算調整勘定が686百万円それぞれ増加したこと等であります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,999,204	3,167,209
受取手形	42,894	11,396
電子記録債権	468,577	802,624
売掛金	3,613,048	4,240,487
製品	415,806	593,467
仕掛品	1,626,474	2,133,488
原材料及び貯蔵品	1,348,651	2,017,494
その他	270,900	176,188
貸倒引当金	△1,973	△2,283
流動資産合計	10,783,586	13,140,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,845,866	2,980,702
機械装置及び運搬具（純額）	2,362,389	2,740,394
土地	1,148,337	1,211,743
リース資産（純額）	152,365	195,480
建設仮勘定	289,235	864,184
その他（純額）	233,942	220,046
有形固定資産合計	7,032,136	8,212,552
無形固定資産	265,931	297,938
投資その他の資産		
その他	229,793	263,832
貸倒引当金	△868	△2,356
投資その他の資産合計	228,925	261,476
固定資産合計	7,526,993	8,771,967
資産合計	18,310,579	21,912,039

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形	185,972	121,773
電子記録債務	574,894	423,783
買掛金	707,243	1,079,551
短期借入金	924,868	1,533,990
未払法人税等	580,411	826,551
賞与引当金	239,960	281,057
その他	446,801	492,446
流動負債合計	3,660,150	4,759,154
固定負債		
長期借入金	506,213	1,018,971
役員退職慰労引当金	35,969	40,502
退職給付に係る負債	149,375	161,915
その他	179,634	319,411
固定負債合計	871,192	1,540,800
負債合計	4,531,343	6,299,954
純資産の部		
株主資本		
資本金	829,350	829,350
資本剰余金	1,015,260	1,015,260
利益剰余金	11,119,871	12,266,384
自己株式	△38,026	△40,690
株主資本合計	12,926,456	14,070,305
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,791	△8,051
為替換算調整勘定	863,570	1,549,830
その他の包括利益累計額合計	852,779	1,541,779
純資産合計	13,779,235	15,612,085
負債純資産合計	18,310,579	21,912,039

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	7,599,258	9,863,408
売上原価	5,324,946	6,850,760
売上総利益	2,274,311	3,012,648
販売費及び一般管理費	726,109	947,419
営業利益	1,548,202	2,065,228
営業外収益		
受取利息	383	515
受取配当金	730	840
為替差益	-	240,395
その他	6,844	31,351
営業外収益合計	7,958	273,102
営業外費用		
支払利息	4,845	4,206
為替差損	41,935	-
支払手数料	-	1,239
その他	1,627	74
営業外費用合計	48,408	5,520
経常利益	1,507,751	2,332,810
特別利益		
固定資産売却益	100	-
投資有価証券売却益	-	6,920
特別利益合計	100	6,920
特別損失		
固定資産除却損	2,926	1,793
投資有価証券売却損	-	136
特別損失合計	2,926	1,929
税金等調整前四半期純利益	1,504,926	2,337,800
法人税、住民税及び事業税	460,134	752,671
法人税等調整額	24,845	51,902
法人税等合計	484,980	804,573
四半期純利益	1,019,946	1,533,226
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,019,946	1,533,226

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,019,946	1,533,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,452	2,740
為替換算調整勘定	318,505	686,260
その他の包括利益合計	311,052	689,000
四半期包括利益	1,330,998	2,222,226
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,330,998	2,222,226

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当社は、2022年7月4日開催の取締役会において、アイシンテック株式会社（以下、「アイシンテック」といいます。）を完全子会社とすることについて決議し、同日付で株式譲渡契約を締結し、2022年7月22日付で、同社の株式の全部を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及び事業の内容

被取得企業の名称	アイシンテック株式会社
事業の内容	高純度石英ガラス、結晶シリコン等の加工

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは、半導体製造装置用の高純度石英ガラス及び結晶シリコンパーツの製造を主力事業とし、多様化するニーズに迅速に応える技術力や現場力の向上、コストダウン活動、アフターサービスの拡充、マーケティングと連動した各種要素技術の開発等を通して、世界中のお取引先へ高精度な石英・シリコン製品を供給しております。

一方、喜多方市に本社を置くアイシンテックは、高純度石英ガラスをはじめ結晶シリコン、セラミックス、金属などの加工技術に定評があります。

アイシンテックが、当社グループに加わり、お取引先に対してより付加価値の高い製品の提供へと繋がること期待でき、当社グループ各社においても、アイシンテックの持っている高い加工技術力を活用することなどを通して、同社及び当社グループ相互の企業価値の向上が図れるものと判断いたしました。

(3) 企業結合日

2022年7月22日	株式取得日
2022年9月30日	みなし取得日

(4) 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

(5) 結合後企業の名称

変更はありません。

(6) 取得した議決権比率

100.00%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

2. 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間
当第2四半期累計期間は貸借対照表のみを連結しているため、被取得企業の業績は含まれておりません。
3. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳
株式取得の相手方が個人であることや株式譲渡契約により秘密保持義務を負うため、開示を控えさせていただきます。
4. 主要な取得関連費用の内容及び金額
アドバイザー費用等 15,400千円
5. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間
- (1) 発生したのれん
85,949千円
- (2) 発生原因
取得原価が受け入れた資産及び引き受けた負債に配分された純額に対して超過した差額を、のれんとして計上しております。
- (3) 償却方法及び償却期間
重要性が乏しいため発生時に一括償却しております。
6. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	629,296千円
固定資産	449,884 "
資産合計	1,079,181 "
流動負債	561,686 "
固定負債	108,444 "
負債合計	670,130 "

3. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

当社グループは半導体事業の単一セグメントであります。

① 生産実績

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,397,915	+23.8

(注) 金額は販売価格によっております。

② 受注実績

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	11,991,827	+52.9	8,129,276	+82.9

③ 販売実績

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
半導体事業	9,863,408	+29.8